

(別紙様式)

# 令和6年度 赤穂市学校評価 外部評価報告書

学校園名 赤穂市立 赤穂東中学校

## 総合的な学校関係者評価

・難しい世代の子供達に接するのは至難の業だと思います。頭が下がります。よろしくお願ひ致します。

・生徒、教師だけでなく、学校として成長していることを感じ取れますので、今後も生徒、教師双方にとって学びの場であることを望みます。

・明るくて元気な子どもに育っていると思います。

今後の部活動の地域移行に伴い、どの団体にも所属しない生徒が多くでけると予想されます。今まで部活動に充てていた時間をどう使うかがこれからの課題だと思います。

・頭髪等の校則を変更されたと聞きました。時代の流れにより変更していく事は良い事だと思います。

・新しい制服、とても感じ良いです。運動会、先生方あまり無理しないで下さい。

・今年は、生徒、教師、PTA 役員と共に協力していたと思います。

生徒も楽しく学校生活を送っていたように思います。

生徒が夢を持ち希望あふれる学校にこれからも取り組んでいただければと思いました。

・来校時、生徒から元気な声で挨拶してもらい[ました。登校時によく会う生徒は自らあいさつしてくれます。あいさつのできる人に育てほしい。

保幼小、公民館に隣接した立地を生かし異年齢との交流などを続けて思いやりのある人に育てほしい。

・重厚な「教育目標」・「基本方針」を掲げ生徒の育成に努める学校運営のご苦労が随所に見られる。

生徒個人の学校生活における大切な成長期において、先生方の根気あるまた、暖かな「見守り」と「時には厳しく」育てあげていって頂きたい。

## 学校関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

### 1 本年度の学校経営方針

【学校教育目標】 「人を愛し、自らを律し、広い世界に挑む生徒の育成」  
～『志』高く、自由と責任の気風あふれる学校をめざして～

【学校教育目標の具現化への基本方針】

- (1) 笑顔とあいさつ、軸の強さと思いやりの心が満ちあふれる生徒の育成に努める。
- (2) 仲間と繋がり、対話を通して考えを深め、自他のために働ける豊かな人間性を養う。
- (3) 「夢」と「志」を持ち、よりよい生き方を求めて挑戦する「勇氣」と「決断力」を培う。
- (4) 地域の東中を自覚し、「誇り」を胸に郷土を愛する心を育てる、魅力ある学校づくりに励む。

### 2 本年度の学校重点目標

- (1) 自発的な思考を促す授業づくりを推進し、確かな学力を育てる。
- (2) 人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する。
- (3) 【健やかな体】の育成。
- (4) 自ら「気づき・考え・行動する」主体的な生徒を育成する。
- (5) 特別支援教育の充実。
- (6) 地域に信頼される、魅力ある学校づくりを進める。

### 3 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組) 評価指標 および 目標値 (期待される姿)	評価資料	達成 状況	改善の方策	
1. 人間として当たり前のことができる集団を育て、人としての心を育てる。	項目 指標	挨拶・服装をはじめ、基本的な生活習慣を確立させることができたか。 誰にでも気持ちのよい挨拶ができ、服装の乱れのない生活ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○笑顔でさわやかな挨拶ができるよう、生徒会を中心に、さらに取り組んでいきたい。 ○服装、時間を守ることなどの基本的な生活習慣の確立にあたっては、全職員の共通理解のもと、家庭との連絡を密にしながら、学校生活のあらゆる場面で、個々の生徒に応じた指導や対応を行う。 ○日々の学校生活で行う日番、清掃、給食当番、ボランティア活動などのみんなの笑顔のために行う活動を実践させたい。 ○生徒1人1人が、自尊感情を高められる指導、対応になるよう教師の研修をさらに積み上げていきたい。
	項目 指標	清掃指導やボランティア活動への参加を促す等、生徒の奉仕の心を育てたか。 熱心に清掃に取り組んだ。また、生徒会や校内のボランティア活動に積極的に参加した。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	生徒の人権を大切にした教育を行い、生徒との信頼関係を築くことができたか。 先生は生徒のことをよく理解しており、頼りになる存在である。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	学校行事・生徒会行事等への参加を促し、より自主的・実践的な態度の育成ができたか。 学校や地域の行事に積極的に参加し、交流を深めた。	生徒アンケート 教師自己評価		
2. 夢と希望を持ち、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目 指標	わかる授業を創造し、生徒たちの自己実現を図り、学習意欲を高めたか。 授業はわかりやすく学習内容は理解できている。生徒はもっと勉強したいと意欲的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○生徒用タブレットのさらなる効果的な活用方法を模索している。便利に伴うリスクも把握した上での取組の必要がある。  ○家庭学習を定着させるために、毎日の課題や、週末の課題を出し、丁寧に点検指導することで意欲の向上を図っている。さらに、家庭と協力して時間の使い方を学ばせたい。  ○基礎学力の定着や向上を図るため、朝の学習タイムの活用が効果的である。さらに、終わりの会後の学習時間の効果的な活用を進めたい。  ○デジタル教科書や生徒用タブレットを活用しながら個々の習熟度に応じた課題の与え方を工夫し、有効な少人数授業の研究を推進する。  ○支援を必要とする生徒に、多くの教師が関わられるよう個別の指導計画、支援計画を活用する。
	項目 指標	家庭との連携を図り、家庭学習の習慣が確立したか。 自主的な家庭学習ができ、宿題等も期日を守って提出できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	授業時数を十分確保できたか。 じっくりと時間をかけた丁寧な指導で、授業がよく分かる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	少人数授業など個に応じた指導が十分にできたか。 自分の到達度に応じた指導を受け、学習内容がよく理解できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	特別な支援を要する生徒に対して適切な指導が行われたか。 教師は個別の支援計画を作成し、一人ひとりに応じた指導ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	主体的・対話的・深い学びを目指した授業の創造ができたか。 生徒たちに学びはあったか。	教師自己評価		

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・人としてどうあるべき姿が正しいのか伝わる様子が見えて来る。続けて頂きたい。 髪型について、教師だけでなく、生徒も一緒になってルールを作ったことは、生徒の自主性を尊重し、育む素晴らしい取り組みなので、今後も続けていってほしい。 ・挨拶だけでなく、悪い事をしたり、間違った事をしたら素直にあやまれる。そんなところもしっかりと指導お願いします。 ・だれとでもアイサツできるように。 ・挨拶は、2、3年前とくらべ、朝の登校時は生徒さんからも声をかけられるようになりました。 ・生徒1人1人が自尊感情を高められ教師と困り事等もきちんと生徒から話しが出来る環境を作ってほしい。 挨拶の声の響く校区であるよう学校発信で地域をまき込めないでしょうか。 地域の公園清掃に生徒は参加してくれないでしょうか。 ・生徒会及び学校方針での「遵守事項」は生徒側の学校生活の大切な条件と思う。指導側職員「教師と生徒」共々根気ある活動に努めて頂きたい。
◎	◎	・生徒が生き生きとやれる様になるには基本となるお互いの信頼関係を築く事も大切だと思います。 学ぶことの大切さと、自主的に学び続けることができるように指導していただきたい。 ・タブレットは便利ですが自分で考え文字にして書いてほしい。 ・スマホやタブレットなど、デジタルコンテンツが日々進化しています。生徒達だけでなく、先生方も十分な活用が出来るよう、アップデートをお願いします。 ・教育学習法の多用にての改善に伴う学習が常態化される今日、生徒側の習熟度が危惧される面がある。 ・これらの面も十分考慮された指導、教育を願いたい。 ・生徒用タブレットの有効な活用を続けて、個々の興味関心のある分野を深く学ぶ時間があればよいと思う。 ・支援を必要とする生徒に対し、多くの教師が関わられる環境をこれからも計画的に行ってほしい

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)	評価資料	達成 状況	改善の方策
3. 楽しく 安心でき 充実した 生活を送 れる学校 づくりを 進める。	項目 指標	教育相談週間(面談)や生活ノートの活用により生徒理解を深めたか。 先生は生徒のことをよく理解し、困ったときに相談できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B ○いじめを生まない学級経営を全教師が実践する。生徒理解を深め、いじめにつながる事案の早期発見、早期対応をチームとして行う。 ○普段の生徒の言動に関して、教師が高い人権感覚をもって向き合う事が大切である。教師自身の人権意識を更に高めていきたい。 ○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら進める。保護者へのカウンセリングを継続して実施していきたい。ケース会議等を持ち、情報を共有し取り組み方を検証しながら進めていきたい。
	項目 指標	楽しく安心できる学校づくりに努めたか。 学校に愛着を持ち、毎日登校することが楽しい。	生徒アンケート 保護者アンケート	
	項目 指標	学級経営等の工夫により、生徒は充実した学校(学級)生活を送っているか。 学級活動等で活躍することができ、学校での生活が充実している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	部活を通して生徒との良好な人間関係を築いたか。 先生の指導は熱心で、生徒は部活動に積極的に参加し、楽しく活動している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	不登校生徒への指導や支援は十分であったか。 不登校生徒が、自分のペースで学びを続けることができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
4. 東中を 学びの場 としてふ さわしい 環境にする。	項目 指標	教室や廊下には生徒の作品やポスター類がきれいに掲示されるなど、環境が整備されているか。 教室や廊下には掲示物が整然と貼られ、環境が整っている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A ○各行事が効果ある取組として実践・継続できるよう事後検証を的確に行いたい。 ○整った環境が学びを向上させるとの共通理解のもと、環境整備を実践した。 ○人権意識の向上のため、生徒の心に響く授業を行う必要がある。今後も継続的に意識調査を実施し、生徒の実態に合わせた指導を心がける。
	項目 指標	掃除がすみずみまで行き届くなど、校舎内外の環境美化に努めているか。 校舎内外ともに隅々まで清掃が行き届いている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	教職員の言葉遣いは人権に配慮された適切なものになっているか。 生徒や保護者に対して人権に配慮した適切な言葉遣いができている。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	生徒会活動は活発で、自治的・主体的・自律的な活動が行われているか。 生徒会の委員会活動等は活発で、生徒は自主的に活動できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
5. 地域に 信頼され る学校づ くりを進 める。	項目 指標	学校だよりやHPなどで学校の情報を家庭や地域に発信したか。 保護者や地域住民は、学校の状況をよく理解している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B ○生徒の様子や保護者の声が地域の方に届けられるように学校だよりやホームページを更新し、学校からの情報を発信する。 ○学校が地域の声を聞く場面を模索し、地域とのつながりを保てるよう努力する。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になるために一層の職務への専念、服務規律の確立に努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生児童委員など、青少年の育成に関与しておられる方々の協力が引き続き得られるような教育活動を展開する。 ○日々の校内巡視や、安全点検、交通立番指導等の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議していただき、外部の方から支援していただけるよう取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導(教師の補助的作業)等にも地域の方のご協力が得られるような方策を検討する。
	項目 指標	オープンスクール等を推進し、保護者や地域の人たちの生徒理解・学校理解を進めたか。 保護者や地域住民は学校行事等に積極的に参加し、また、教育活動に協力的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	地域行事への参加・協力を通して、学校と地域の連携を図ったか。 地域行事に積極的に参加する。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	P T A活動への協力など、P T Aと効果的な連携を図ったか。 P T Aの協力を得て、教育活動が活性化した。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	学校評価を適切に行い、次年度への学校教育の指針を作成したか。 アンケート等で保護者や地域住民の声をくみ取り、次年度の学校経営方針等を策定した。(教師)	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	育成推進委員会などと連携を図り、生徒たちの健全育成を推進したか。 地域諸団体の協力を得て、健全育成を推進した。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	
	項目 指標	安全で安心な学校づくりに取り組んだか 定期的な安全点検、校内の巡回等、生徒の安全確保に取り組んだ。(教師)	保護者アンケート 教師自己評価	

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・難しいですがお互いの信頼関係の中でしか構築されないと 思います。 ・大勢の中で人間関係を良好に保つことが、いかに大切でむずかしいかを、みんなで考えるように指導していただきたい。 ・いじめは家庭内での話し合いが必要。不良校は難かしく1人で多く学校へ。 ・改善の方策としてあげている項目を実現してほしいです。 ・非常に難しい問題と思うが、いじめの発祥となり得るSNSの取扱いや監視については何か具体策はあるのでしょうか。 ・SNSなど見えにくい。いじめ等あるかと思うので早期発見に努め安心安全な学校であってほしい。 ・いじめを生まない対応の基本は生徒間・教師を含めた「人権の尊重」と「思いやり」と共に学校間のチームワーク造りが大切と思う。 又いじめ等につながる前ぶれ等の早期発見等根気強く見守って頂きたい。
◎	◎	・ここに書く様な事ではないですが授業中に集中していない生徒を立たせ、途中「先生が間違ってた」と立たせた生徒に謝っていた先生がいらっしゃいました。難しいですが、生徒より少しだけ上をいくよう先生でした。(良し悪しは別として) ・「学校をきれいにしなさい」という指導ではなく、「きれいな学校」と「きたない学校」が自分達にどういった影響を及ぼすのかを理解し、自主的に「きれいな学校」を目指すように指導していただきたい。 ・校内はきれいです。清掃ができていますと思います。 ・生徒達が自主的に整理が出来る環境、何ごとも、主体性も持って取り組める環境であってほしいです。 ・来校時、校舎内は美しく整えられていると思います。 ・「美化環境作り」「整備」は根気いる徹底車と思う。 「教師の言葉」生徒の心に残るもの。一言一句、よい方向で響いて残るものであって欲しい
◎	◎	・今でも十分だと思います。 ・地域に開かれた学校づくりと、生徒と地域の関わりを深めて、生徒の育成に努めていただきたい。 ・中学生の地域で活動できる場を増やします。 ・学校だより、部活動の記録、いつもありがとうございます。 民生委員との7校園所の懇談会、引き続きよろしく願います。 ・生徒が、地域行事に参加できる環境をつくってほしいです。 他の取組みは今後も継続してほしいです。 ・民生委員児童委員と四校園所の懇談会を継続してほしい。 地域にボランティアを呼びかけ校舎外の清掃作業や、家庭科の実習等先生方の手助けになる人を募ってはどうか。仕組みを具体的に知らないのですが、他の小学校は地域の方がボランティアで学校に行くと聞きました。 ・地域とのつながりと連携を保った上での自治会等への配信「学校だより」「HP」等の配信はとても効果大である。 今後とも自治会、学校運営協力関係の連携を保ちながらの協力支援等をも充実していきたい。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観 点 (重点目標)	評 価 項 目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	項目	評価指標 および 目標値 (期待される姿)			
6. 人間的なふれあいに基づく生徒指導を進める。	項目	全教育活動を通して、いじめ・暴力のない人間(生徒)関係づくり、学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○学級経営、生徒指導について教師自身が力量を高めようとする姿勢が求められる。生徒が生き生きと活動するためにどのように学級づくりを進めるのかチームとして取り組みたい。 ○道徳の指導力を向上させ、教師自身が人間性を磨く姿勢を持ち続けていきたい。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につきにくい生徒もいる。保護者がどのように関わればいいのかも含めた、地域の関係団体や関係機関との協力を進める。 ○生徒と教師、生徒同士の適切な関係づくりや、家庭と教師との連携に向け、教職員の資質向上研修を推進する。
	指標	学級(学校)は、安心して勉強や生活ができる場である。			
	項目	道徳教育をはじめ全教育活動を通して、他者への思いやりやマナー、命の大切さを学ばせたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	命の大切さが分かり、人の気持ちを大切に仲良くすることができた。			
項目	問題行動が発生した時には組織的に対応し、早期の解決を図るとともに、未然防止に努めた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価			
指標	教職員は問題行動に対して適切な指導をし、問題行動が減少した。				

◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の関係性は難し課題だと思います。</li> <li>・繊細な問題もあり、どこまで立入ればいいのか含めて。</li> <li>・人にはそれぞれ個性があることと、それを尊重すべきであることを指導していただきたい。</li> <li>・地域の関係団体として協力は惜しまない。</li> <li>・道徳教育を通じて大人になっても通用する倫理観を養ってもらいたい。</li> <li>・4校園所のふれあい交流を数多く続けて下さい。</li> <li>・改善の方策として出している事を継続していけるよう取り組んでほしいです。</li> <li>・登校が楽しいと思う生徒が増えるように願います。</li> <li>・学校経営「学級づくり」で大切なことは、教師・生徒間の信頼関係がどうかで決まる。お互い、特に教師側が人間力を高め生徒に対しても、個々の人格を尊重した上で共に意識を高めていって頂きたい。</li> </ul>
---	---	---

### 自己評価における特記事項

○少しずつ達成している取り組みを継続して取り組みたい。
○ICTの効果的な活用について、さらに研修を深めたい。

### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

○授業研究、校内研修等充実し、授業を通じた教師の資質向上を更に効果的に進めたい。
○不登校対策を見直し、個に応じた学習機会の提供の方法を検討したい。
○毎年行っている行事等を根本から見直し、時代の流れに沿った取り組みにを考えたい。